

超小型データロガー

概要

本器は、汎用計測器形データロガーに比べ体積、重量比で1/10のダウンサイズを実現し、他の小型機にはない、多チャンネル、高速サンプリング記録を可能としております。

特徴

- *12チャンネル(0~5V)の電圧入力
- *サンプリングレート10ksps(同時サンプリング)
- *外付けmicroSDカードドライブ標準装備

用途

移動体内の各種センサ出力の記録が主な用途です。設置スペースの限られた制御装置などへの組み込み用としてもご使用いただけます。

製品外観



データロガ本体・microSDカード		
外形寸法	縦29mm横99mm高さ26mm	本体
重量	約70g	本体
サンプリングレート	10ksps	変更可
A/D分解能	16bit	
入力レンジ	0~+5V	固定
データ記録メディア	microSDカード	外付ドライブ
外部I/F	接点入力による収録開始トリガ	
	USB通信ポート 57.6kbps	
電源電圧	4~8V	
PC用ファイルコンバータソフト		
機能	DATファイルからCSVファイルへの変換	
動作OS	MS Windows 2000/XP/7	
PC用データロガ設定ソフトウェア		
機能	時刻、サンプリングレート設定、入力電圧確認	
動作OS	MS Windows 2000/XP/7	

問合せ先

(株)テス 〒185-0034 東京都国分寺市光町2-8-38 X棟2F
実験開発部 電話 NTT 042-573-1153

金属疲労試験の 亀裂発生検知器

【概要】

金属疲労試験などで亀裂を検知する場合をご想像下さい。

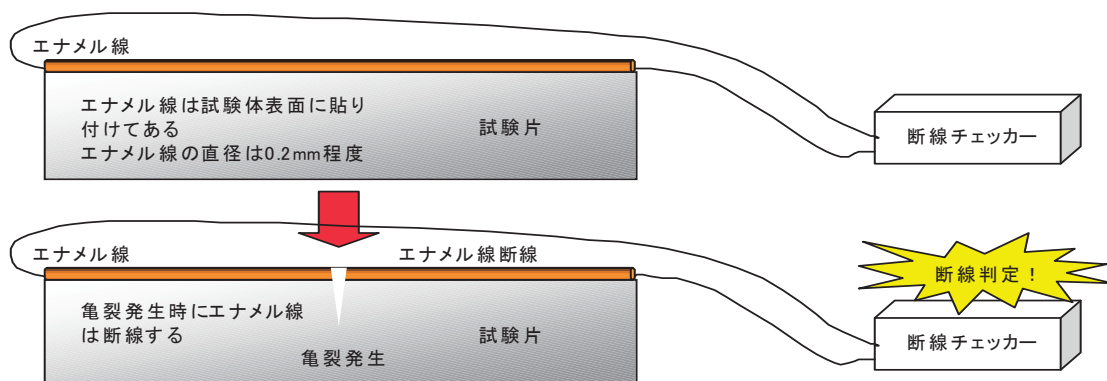
(1) 最初に亀裂が発生したとき ➡ 最大応力時に亀裂が一瞬だけ発生しますが、除荷時は亀裂が閉じた状態になります。

(2) さらに载荷を続けると ➡ 発生した亀裂は進展し、やがて除荷時でも亀裂が開いた状態になります。通常はこの状態で亀裂が発見されることが多いと思われます。このときの亀裂は相当大的な長さに成長していることが多く、本来の亀裂発生から遅れて発見されていることが多いと思われます。

亀裂発生検知器は、最大応力時の一瞬の亀裂を的確にチェックすることができます。

【特徴】

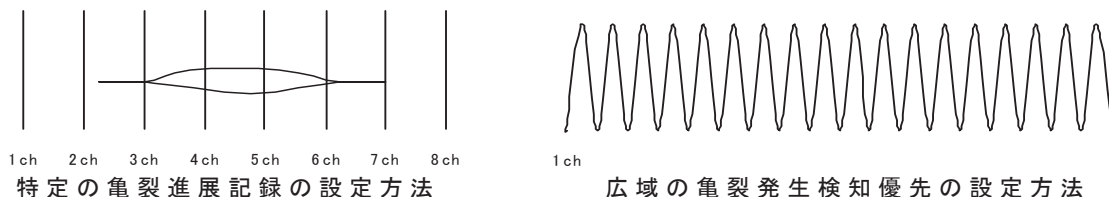
亀裂が発生すると予想される箇所にエナメル線を密着して設置し、エナメル線の断線チェックにより、亀裂の発生を検知するしくみです。



- ・ エナメル線の断線チェックは、1 c h あたり1万回/秒
- ・ 同時に8チャンネルの断線をチェック
- ・ ノイズによる誤判定を防止する機能を装備（精度の高い亀裂検知が可能）
- ・ 判定は各チャンネルの電圧信号でデータロガーへの出力も記録可能

【用途】

エナメル線の設置の方法を工夫すると、亀裂検知の目的に応じた観察・記録が可能です。



特許出願中です。

問合せ先
株式会社テス 〒185-0034東京都国分寺市光町2-8-38
技術本部 電話 NTT 042-573-7899 JR 053-7402